



伊丹市立幼児教育センター通信

ときめき ひらめき

Vol 24 (令和7年6月)
発行: 伊丹市立幼児教育センター
住所: 伊丹市千僧1-1
電話: 072-780-2488
アドレス: youkyosenta@city.itami.lg.jp

★今年度の幼児教育センター 主な取り組みを紹介します

○「架け橋期の教育保育の充実」に取り組めます○

昨年度から幼児教育センターは「幼小接続」について研究をすすめ、小学校1年生の授業観察等を行い、小学校以降の学びを見通し、架け橋期の5歳児において特に必要な体験、学ばせたい内容を明確にした、「伊丹市 架け橋期のカリキュラム(5歳児版)」を策定しました。

また今年から、幼児教育アドバイザーは「架け橋期の教育保育のコーディネーター」としても活動します。各施設への訪問時など、「架け橋期の保育のポイントは?」や「自園の架け橋期のカリキュラム、どうしたらいい?」等、ご相談もお待ちしております。今年度から始まる、架け橋期の教育連絡協議会「地域部会」にも、架け橋期のコーディネーターとしてアドバイザーが参加します。

また、今年の幼児教育シンポジウムは「架け橋期の学び」について小学校の先生と共に学べるよう、平日開催です。(12月4日(木) 予定)今年度は講師として、スタートカリキュラムの実践が豊富な泉大津市立小学校 教頭 竹野 乃利子先生をお招きします。こちらもぜひ、ご参加ください。

○学びに向かう保育者の皆さんを応援します○

・1年目～5年目の若手保育者対象の自主勉強会 今年もやります!

第1回目は、『保育あれこれ座談会』…6月27日(金)18時～19時 詳細は近日中にご案内します。

「勉強会」というと少し堅苦しいですが、公立私立、また保育所幼稚園こども園 施設種別は違っても、伊丹のこどもたちを育む保育者という点は同じ。若手保育者の皆さんが安心してなんでも話せる場、相談できる場にしたいな、そして、同じ若手の先生たちの横のつながりができるといいなと思います。

・同じテーマで学びを広げる「グループ研修」の場として、幼児教育センターを活用してみませんか?

例えば「表現遊びについてもっと知りたい!」「子ども主体の保育について学びたい!」等、施設類型や経験年数を問わず、保育の中で自分の興味のあることをもっと知りたい、こんな勉強会があったら参加してみたい、でも自分でグループを立ち上げるのはちょっと…と迷われている方、ぜひ幼児教育センター(担当:岡本)まで一度お声掛けください。

幼児教育センターは6年目を迎えました。GW明けからは各施設へのアドバイザー訪問も始まり、早速様々のご相談、ご依頼を受けています。今年も保育者の皆さんとともに、子どもを真ん中に、考え合い・学び合いを大切に、伊丹市の保育の質の向上に向けて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(幼児教育センター長 岡本 真弓)

★新任 幼児教育アドバイザー紹介

どうぞよろしくお願いいたします。



今年度、新たに幼児教育アドバイザーが着任いたしました。

谷澤 美栄（たにざわ みえ：前 荻野保育所長）

屋島 京子（おくしま きょうこ：中央保育所より）

★おススメ保育専門書

☆紹介の専門書は貸本として幼児教育センターに置いておりますので是非ご利用ください。

「遊んで育つ 手づくり玩具」

著作：村田夕紀 発行：ひかりのくに



身近なモノで作れて、組み合わせやアレンジで遊びの幅が広がる手作り玩具を紹介。小さな工夫で子どもが遊び続けます。子どもの発達目安の表もついていて、子どもの発達を押さえながら、その子どもに合った手づくり玩具を作るヒントがあります。

「幼児教育と小学校教育が

つながるってどういうこと？」

文部科学省 発行：東洋館出版社



一見すると異なるものに見える幼児教育と小学校教育。しかし、実は、子ども達に「育みたい資質・能力」や「主体的・対話的で深い学び」などの考え方には連続性・一貫性があり、幼児期と児童期の子どもの発達や学びはつながっています。子ども達が幼児期に遊びを通してどのような学びを重ねているのか、小学校では幼児期の遊びを通して学びを踏まえてどのように教育活動を展開しているのかを紹介している本です。

研修会 DVD 貸し出します

◎リスクマネジメント◎乳児保育◎保育環境◎人権◎インクルーシブ◎幼小接続 etc・・・様々なテーマの、これまでの幼児教育研修会録画 DVD を貸し出します。園内研修などにご活用ください。「こんな内容ありますか？」等、センターまでお気軽にお問い合わせください。

★アドバイザー通信「一緒にやってみよう！」

先日、私立の保育所へアドバイザー訪問に行かせていただいた時に、保育者が笑顔いっぱい子どもたちと一緒にリズム活動で体を動かしている姿がありました。子どもの主体的な遊びの経過を側で見守ることは保育の中の大事な視点ではありますが、保育者が子どもと一緒に楽しむことで子どもの活動や学びがより楽しくいきいきとしたものになるという事を改めて感じる機会になりました。

子どもが遊びを楽しむために、まずは保育者自身がその遊びの楽しさを味わってみることも大切ですね。

（幼児教育センター 屋島）

金曜日の夜間開館に

ついてお知らせ

原則第2・4金曜を、
夜9時までの開館日とします。

随時、電話や来館での相談も受付けております。

どうぞよろしくお願いいたします。